



# 開物成務

郡山市立開成小学校  
学校便り No.31  
平成30年11月16日  
文責：校長 伊藤孝行

## 学習指導要領が変わるといことは！

小学校の学習指導要領が変わるといことは、それを受けて

⇒ 高校の入学試験が変わります。

⇒ 大学の入学試験が変わります。

今の子どもたちは、どちらにも当てはまります。現在の6年生は3年後には受験生になります。中高生のお子さんをお持ちのご家庭は、中学校3年間はあっという間に過ぎていくということを実感されていると思います。

### 【高校の入試改革について】

現在行われているI期選抜試験は今年度で終了し、次年度からは新試験が始まります。

### 《主な変更点》

	種別	選抜方法	時期
現行	I期選抜	自己推薦 学力検査無	2月上旬
	II期選抜	学力検査	3月中旬
	III期選抜	面接・小論文	II期終了後
20 年 春	前期 選抜	特色選抜 自己推薦	学力 検査 3月 4～6日
		一般選抜 学力重視	
	後期選抜	面接・小論文	前期終了後

現在はI期選抜試験では学力検査はありませんが、次年度からは特色選抜・自己推薦であっても学力テストを受けることになります。試験の内容も論述式が増えていくと言われています。

### 【大学の入試改革について⇒2011年】

まずは試験の名称が「センター試験」から「大学入学共通テスト」に変わります。

今回の小学校学習指導要領の改定の柱は、「主体的・対話的で深い学び」です。

これが、大学入試にどう関係しているのかというと、大学の入試問題が、従来の穴埋め問題やマークシートなどの記憶再生型試験から、論述式・記述式にと、思考・判断を問う形式に変わっていきます。

また、英語は共通試験ではなく、「実用技能英語検定、TOFEL、TOEIC、ケンブリッジ英語検定など」民間の資格・認定試験が使われることに決まりました。

これには、小学校英語から学び始める英語の力の「聞く・話す・読む・書く」の4領域が試されるということです。

このように、小学校での学びが変わるといことは、それをもとに高校入試や大学入試も変わるということなのです。

子どもたちが今学んでいることが、3年後の5年後の進路選択に影響するのです。

## 校医の先生から歯科指導を受けました。

健康な歯が健康な体作りの基本となります。しかし、郡山市の子どもたちのむし歯の保有率は全国の中でも高い位置にあり、とても残念なことです。



13日(火)は、学校歯科医の佐久間先生においでいただき2・3年生の歯科指導を行っていただきました。

20日(火) 1・4年生歯科指導

27日(火) 5・6年生歯科指導

正しい歯磨きを身に付け、健康な歯でおいしく食事をとり、健康な体づくりを進めてほしいと思います。

郡山市では18歳までの子どもに対し、医療費補助制度が設けられています。

むし歯に限らず、各種疾病の早期診断、早期治療のためにご活用ください。